

## 第62期 第2四半期決算のご報告

2019年4月1日から2019年9月30日まで

# 株主通信

### CONTENTS

- ① 株主の皆様へ
- ② トピックス
- ③ セグメント別業績
- ⑤ 連結決算ハイライト
- ⑦ 四半期連結財務諸表
- ⑨ 会社の概要



株式会社 丸順

証券コード：3422

## 株主の皆様へ

### ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第62期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）を終了いたしましたので、営業概況及び第2四半期決算のご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

代表取締役社長 **齊藤 浩**

### 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や政府支出が増加したこと等から景気回復が続いております。欧州では、消費及び機械設備投資等に支えられ、景気は緩やかに回復しております。中国では、米国との通商問題による外需の低迷及び投資抑制策の影響や輸入減少等の内需の伸び悩みもあり、景気は緩やかに減速しております。日本では、輸出の低迷が続いているものの、個人消費の持ち直し等により景気は緩やかに回復しております。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、オセアニア、アフリカ及び中南米向けの輸出が減少となったものの、国内の販売台数が増加し、タイ国内自動車生産台数は前年とほぼ同水準での推移となっております。中国では、景気減速や米国との通商問題等により新車販売台数が低迷しているものの、新型モデルを投入した日系メーカーにおいては、好調な販売台数となっております。日本では、新型モデルの投入及び消費増税に伴う駆け込み需要の影響もあり、新車販売台数は順調に推移しております。

このような状況のもと、当社グループは中長期5か年計画の2年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、23,390百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は1,832百万円（前年同四半期比20.7%減）、経常利益は1,526百万円（前年同四半期比20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は950百万円（前年同四半期比19.4%減）となりました。

また、当期の中間配当は、1株につき4円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき4円を予定しております。ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# トピックス

Topics

## 日本丸順 3000tトランスファープレス機導入

当社は、2019年11月より新3000tトランスファープレス機（以下、3000tプレス）の稼働を開始いたしました。当該設備は、日本丸順上石津工場敷地内に新たに建設したプレス工場に設置し、先進技術を活用した高効率な設備の導入及び生産ラインの構築をいたしました。

3000tプレス導入にあたっては、「環境にやさしく、人（従業員）にやさしいスマート工場」をコンセプトに、競争優位性の高い超ハイテン部品の受注を拡大し、ボディ部品事業の体質向上を図るとともに、戦略事業である金型事業においても、超ハイテン加工技術のさらなる進化に繋げてまいります。これにより日本丸順は、2機の3000tプレスを保有することとなり、当社の生産技術との融合により超ハイテン材プレス部品の生産能力を2倍以上に引き上げるとともに、資本業務提携先の東プレ株式会社との協業体制のさらなる強化を図ります。

### 導入による効果

- 材料投入において、ロボット及び画像処理技術の組み合わせにより自動で材料位置が補正され、作業員負荷の軽減や位置補正装置の削減による省スペース化を実現しております。
- プレス全体を床下に設置し、プレス加工時の部品搬送高さを作業員の目線まで下げ、作業員の負荷軽減を図ります。
- プレス加工時の部品搬送高さを作業員の目線まで下げることで、生産中の不具合発見が容易になり、作業ロスタイムを削減いたします。
- プレス加工時の部品搬送高さを作業員の目線まで下げることで、新しい金型のトライ（試し打ち）時の生産状況確認が容易になり、トライ時間の短縮が可能となります。
- さらなる部品ハイテン化（現状よりさらに硬い材料での自動車部品製造の需要発生など）及びアルミ等非鉄金属のプレス加工も可能とした仕様であります。
- 将来を見据えた物流動線及びレイアウトにより、スペース効率を向上しております。
- 窓を拡張し、採光により工場内照明を減らすとともに、既存工場に比べ、空調設備のレイアウトを最適化することで、電力費を削減しております。



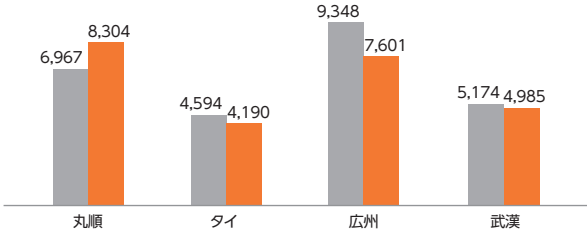
新3000t  
トランスファープレス機

## セグメント別業績

## セグメント別売上高 (第2四半期)

(単位: 百万円)

■ 2019年3月期 ■ 2020年3月期



## 丸順

【株式会社丸順】

## 増収増益

丸順においては、部品事業で主要客先向け自動車部品の生産が増加したことに加え、エンジニアリング事業においても専用設備の販売が増加したことにより、売上高は増加いたしました。また、経費等の原価低減の取組み及び海外子会社からの受取配当金増加による営業外収益の増加等により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は8,304百万円（前年同四半期比19.2%増）、経常利益は1,220百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

## タイ

【タイ・マルジュン社】

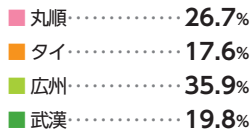
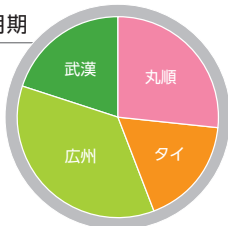
## 減収減益

タイにおいては、エンジニアリング事業で専用設備の販売が増加したものの、部品事業において主要客先向け自動車部品の生産が減少したことにより、売上高は減少いたしました。また、償却負担が減少したものの、前年は一時的な利益押し上げ要因として量産車種終了に伴う金型投資費用の回収が計上されていたことに加え、新型車立ち上がりに伴う品質コストの上昇等により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は4,190百万円（前年同四半期比8.8%減）、経常利益は23百万円（前年同四半期比89.0%減）となりました。

## 〈セグメント別売上高構成比率〉

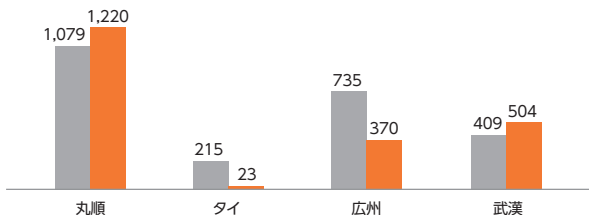
2019年3月期



## セグメント別経常損益 (第2四半期)

(単位：百万円)

■ 2019年3月期 ■ 2020年3月期



### 広州

〔広州丸順汽车配件有限公司〕

#### 減収減益

広州においては、部品事業で自動車部品の生産が減少となったほか、円高による為替影響により売上高は減少いたしました。また、継続的な要員適正化等の取組みを実施したものの、売上高減少に伴い固定費負担が相対的に増加したことにより、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は7,601百万円（前年同四半期比18.7%減）、経常利益は370百万円（前年同四半期比49.6%減）となりました。

### 武漢

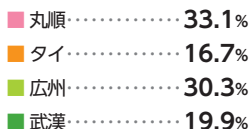
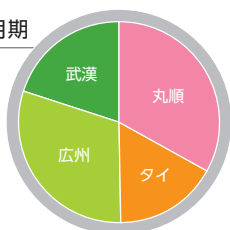
〔武漢丸順汽车配件有限公司〕

#### 減収増益

武漢においては、売上高は現地通貨ベースでは前年同期とほぼ同水準となったものの、円高による為替影響により、邦貨ベースでは売上高は減少いたしました。なお、購入費や経費等の原価低減活動等の継続的な取組みにより利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は4,985百万円（前年同四半期比3.6%減）、経常利益は504百万円（前年同四半期比23.1%増）となりました。

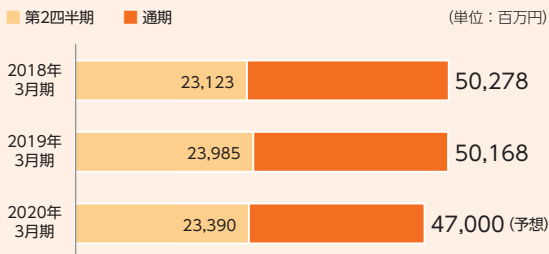
2020年3月期



## 連結決算ハイライト

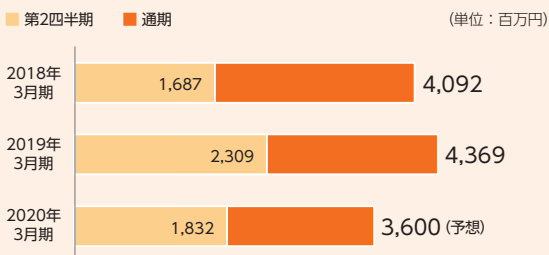
## 売上高

23,390百万円 • 前年同四半期比 ↓



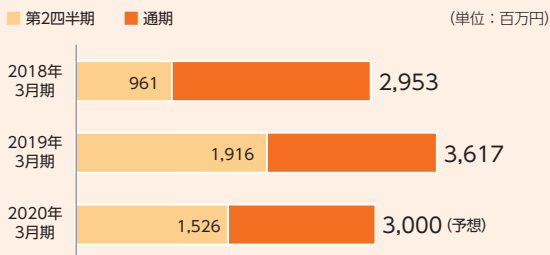
## 営業利益

1,832百万円 • 前年同四半期比 ↓



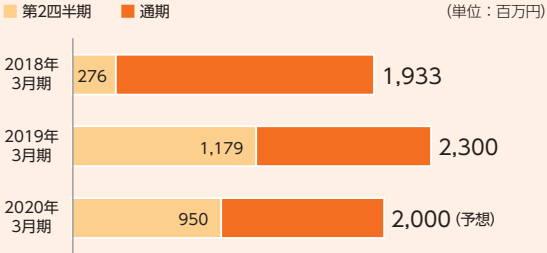
## 経常利益

1,526百万円 • 前年同四半期比 ↓



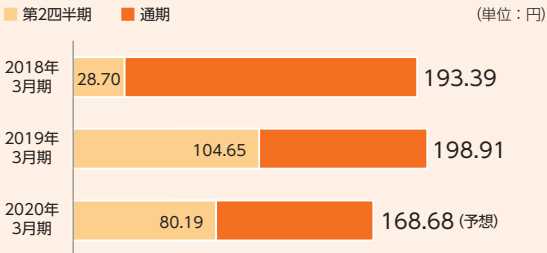
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

950百万円 • 前年同四半期比 ↓



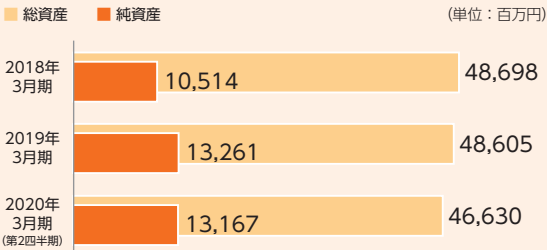
## 1株当たり親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

80.19円 • 前年同四半期比 ↓



## 総資産・純資産

46,630百万円 • 13,167百万円

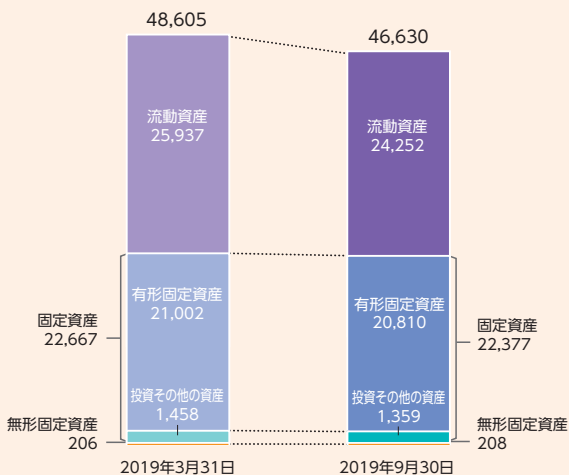


## 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

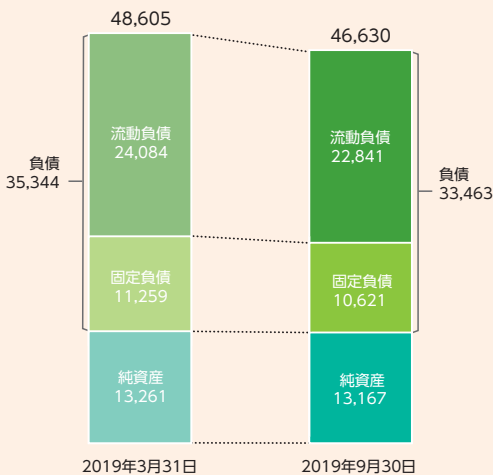
## 資産の部

(単位：百万円)



## 負債・純資産の部

(単位：百万円)

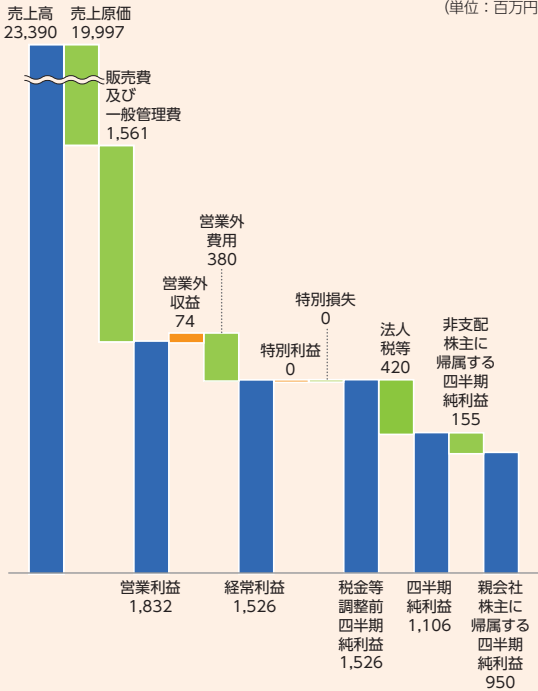




## 四半期連結損益計算書 (要旨)

2019年4月1日～2019年9月30日

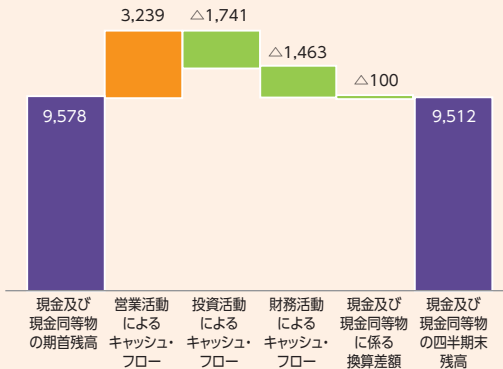
(単位：百万円)



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2019年4月1日～2019年9月30日

(単位：百万円)



# 会社の概要 (2019年9月30日現在)

## 会社概況

### 商号

株式会社 丸順  
(英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

### 創業

1952年7月

### 設立

1960年1月

### 資本金

1,950百万円

### 事業内容

自動車用車体プレス部品の製造  
自動車用精密プレス部品の製造  
各種金型の設計・製作  
治具・検査具の設計・製作

### 従業員数

323名 (連結2,248名)

### 電話番号 (代表)

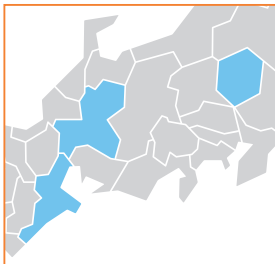
0584-46-3191

## 役員

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 齊藤 浩  |
| 常務取締役   | 青山 秀美 |
| 常務取締役   | 猪熊 篤俊 |
| 取締役     | 松井 恒夫 |
| 取締役     | 棚橋 哲郎 |
| 取締役     | 露木 好則 |
| 取締役     | 上田 勝弘 |
| 取締役     | 竹内 治彦 |
| 常勤監査役   | 堀田 政道 |
| 監査役     | 馬淵 仁  |
| 監査役     | 水谷 博之 |
| 執行役員    | 山崎 英次 |
| 執行役員    | 森 和行  |
| 執行役員    | 小見山 肇 |

(注) 1.取締役 上田勝弘氏、取締役 竹内治彦氏は、社外取締役であります。  
2.監査役 馬淵仁氏、監査役 水谷博之氏は、社外監査役であります。

## 事業拠点



### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

### 鈴鹿工場

三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社日本陸送内)

### 栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

とちぎ産業交流センタービル202号室

### 広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市  
広州経済技術開発区永和経済区  
永盛路8号

### 武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市  
東湖新技術開発区光谷一路223号

### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN  
NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG  
KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

### ベストテックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,  
DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

## 株式の状況

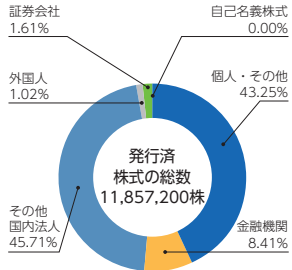
### 株式数及び株主数

発行可能株式総数  
39,000,000株

発行済株式の総数  
11,857,200株  
(自己株式235株含む)

株主数  
2,337名

## 株式数構成比

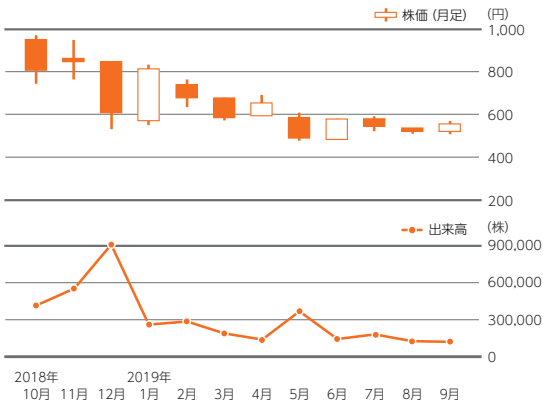


## 大株主の状況

| 株主名             | 持株数 (株)   | 持株比率 (%) |
|-----------------|-----------|----------|
| 東プレ株式会社         | 2,370,700 | 19.99    |
| 今川 喜章           | 1,022,770 | 8.63     |
| 本田技研工業株式会社      | 988,950   | 8.34     |
| 今川 順夫           | 477,870   | 4.03     |
| 太平洋工業株式会社       | 463,950   | 3.91     |
| 名古屋中小企業投資育成株式会社 | 371,000   | 3.13     |
| 今村金属株式会社        | 337,900   | 2.85     |
| 株式会社三菱UFJ銀行     | 325,000   | 2.74     |
| 株式会社大垣共立銀行      | 300,000   | 2.53     |
| 有限会社イマガワ        | 300,000   | 2.53     |

(注) 当社は、自己株式235株を保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
大株主の今川 順夫氏は、2019年6月21日に逝去いたしました。2019年9月30日現在における株主名簿上の名義で記載しております。

## 株価チャート



## 株主メモ

|                  |   |
|------------------|---|
| 事業年度             | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会           | 毎年6月  |
| 基準日 期末配当<br>中間配当 | 毎年3月31日<br>毎年9月30日  |
| 定時株主総会基準日        | 毎年3月31日   |
| 株主名簿管理人          | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社   |
| 郵便物送付先           | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 |

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



### ホームページ

決算情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時更新・掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

当社ホームページURL

<https://www.marujun.co.jp/>



株式会社 丸順



本株主通信は、環境保全のため「植物油インキ」で印刷しています。